

1 バリアフリーについて

ただいまの^{とみざわ}富澤^{いずき}厳希議員のご質問にお答え申し上げます。

ご質問の中にありましたように古い施設は誰もが使いやすいバリアフリーの配慮が取られていない場合が多い傾向にあります。

施設の改修に際しては、例えば小中学校の校舎の場合では、ユニバーサルデザインによるトイレの整備を行ったり、道路の場合では、できる限り歩道の段差の解消に努めているところです。

バリアフリーやユニバーサルデザインの考え方は、本市のまちづくりのための総合計画や関連する各種計画においても、施設整備の基本的な考え方として、整備の際の重点項目として定めています。

そして、大規模な改修工事の際には、バリアフリーやユニバーサルデザインを取り入れ、誰もが利用しやすい、やさしい施設に切り替えるよう工事を実施しております。

その他にも、制度や文化・情報、意識のバリアなど、様々な問題が

ありますが、啓発や制度の改正に努め、すべての人が安全・安心で住みやすいまちづくりを目指し、取り組んでまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、^{とみざわいずき}富澤巖希議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。